

(様式第4号)

第2回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成29年5月18日(木) 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、甲田委員、小林委員、坂田委員、竹内(榮)委員、竹内(弘)委員、竹下委員、龍野委員、西川委員、早坂委員、林委員、本間委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、土屋地域振興政策幹、池田係長、佐藤主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成29年5月23日

協 議 事 項 等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長)

3 協議事項

(1)専門委員会の取組状況について

「地域振興委員会」

(委員会代表者) 前回4月20日に塩田地域協議会が視察した松本市「道の駅 今井恵みの里」について資料により報告。主なものは以下のとおり。

- ・「道の駅今井恵みの里」は地域活性化と今井地区の基幹産業である農業の振興を図るための拠点として整備された農産物直売施設で年間売上額は5億~6億円である。
- ・農業だけで生計を維持できる仕組みづくりに取り組んでいる。
- ・規格外の農産物も含めて全て売り切っている(捨てる農業からの脱皮)。
- ・農産物加工施設を整備し、6次産業化を推進している(規格外品の利用等)。
- ・レシピ作成や軽トラ市など女性が農産物直売所の運営に参画し貢献している。
- ・「手上げ方式」でやる気のある生産者に利益がいく仕組みになっている。
- ・買物券を発行し、次回訪れれば収穫体験などに活用できるなど集客対策に力を入れている。
- ・高齢者や女性、若者などを巻き込んで担い手を育成している。

(会長)他に気づいた点はないか。

(委員)ジャムやジュース類は商品を上に積み重ねるのではなく、横一列に並べるなど陳列に工夫がされていた。

(会長) 駅長が会員(農家)をうまくまとめている。他の直売所では他産地の品を多く取り寄せて品揃えを増やすケースがあるが、「今井恵みの里」は470人の会員が農産物直売所を支えており、「農業を育てる」という意気込みが感じられた。

「地域福祉・教育委員会」

(委員会代表者) 公立大学法人となった長野大学について研究しているが、長野大学の新生へのアンケートについては、大学が行うことになっており、今後アンケート結果の提供を願ひし、学生の意向把握を行う予定である。

このほか、地域住民は長野大学に対してどのような期待をしているのか、市は地域に対して長野大学にどのような対応を期待しているのか、企業側は地域に対して長野大学にどのような対応を期待しているのかなどについて調査研究していきたい。

の地域住民の意向把握については、塩田地域協議会委員にアンケートを行うこととし、今回依頼させていただいた。アンケート結果については後日報告する。

「地域環境保全委員会」

(委員会代表者) 荒廃化した竹林の整備を促進するため、伐採した竹を粉碎した「竹粉」の農作物への有効性について調査研究しており、実際に協力農家に竹粉を使っただき、ネギ、キュウリ、レタス、トウモロコシなどの生育状況を調べている。また、長野大学にはコマツナの比較栽培試験をお願いしている。今後、「タケノコ」の消費の促進についても研究していく予定である。

「地域安心・安全委員会」

(委員会代表者) 自治会を対象に自主防災に関するアンケート調査を行っていたが、自治会からアンケートを回収できたので、今後委員会の中で分析、検討を行っていききたい。

(2)その他

・わがまち魅力アップ応援事業 第2回募集

募集期間：5月29日(月)～6月9日(金)(事務局報告)

(委員) わがまち魅力アップ応援事業の補助金が削減されたようであるが、3回目の募集は行う予定があるか。

(事務局) 今のところ予定している。

・その他

(会長) 住民自治組織が市内各地で設立された場合、今後地域協議会はどうなるのか。先進事例では廃止しているところもある。

(事務局) 地域協議会の今後のあり方については、現在市の内部で検討が行われているが、市内全域で住民自治組織が設立できないと地域協議会の廃止は難しいと考えている。第6期地域協議会の委員任期は今年度までなので、来年度も地域協議会は継続する可能性が高い。しかし、地域協議会の任務の一つである「地域課題の調査研究」については、住民自治組織が担っていただくこととし、地域協議会は、市からの諮問・答申、わがまち魅力アップ応援事業の審査などに限られていくものと考えられる。今年度中には方向性を出すことになっている。

4 その他

- ・地域自治組織設立検討委員会経過報告及び（仮称）塩田まちづくり協議会の設立について事務局から資料により経過を報告する。

（委員）地域協議会の委員は現在各専門委員会に分かれて様々研究している。塩田まちづくり協議会が設立されると専門部会が設置されるが、この専門部会に塩田地域協議会の委員は今年度参画していくことになるのか。塩田まちづくり協議会を円滑に進めるためには必要であると思う。

（事務局）塩田まちづくり協議会では役員会のほかに専門部会を設置する方向であるが、専門部会のメンバー、活動内容など細かな点は決まっていない。専門部会については、塩田まちづくり協議会発足後に役員の皆さんとともに検討していきたい。

5 閉会（副会長）

終了後、専門委員会ごとに打合せ